市町村名	東村

令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-①	特別支援教育支援員配置事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-（2）-エ 時代の変化に対応する魅力ある学校づくりの進達
担当部課名	教育委員会	事業実施（予定）年度	平成27年度～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-（1）

事業内容

教育上、特別な支援を必要とする児童並びに児童生徒に対し、円滑な学校生活を送れるように在籍する幼稚園並びに小学校において特別支援教育支援員を配置し、児童生徒の安心・安全な学習環境を保持する。

効果発現年度　■当年度　□後年度（　　年度）

実施方法　■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
予算の状況	(a) 当初予算額	10,786	10,224	7,536	7,497	7,859
	(b) 予算現額	8,989	7,723	6,107	6,387	6,478
	(c) 増減額（b-a）	-1,797	-2,501	-1,429	-1,110	-1,381
	(d) 繰越額					
	A. 計（b+d）	8,989	7,723	6,107	6,387	6,478
B. 執行済額		6,651	5,537	4,229	3,516	5,531
うち交付金充当額		5,321	4,429	3,383	2,813	4,425
次年度繰越額						
執行率（%）（B/A）		74.0%	71.7%	69.2%	55.0%	85.4%

予算の状況の説明

小学校1校へ3名、中学校1校へ1名の配置を予定通り配置する事が出来たが、支援員が対象の児童生徒に対応する時間を交付対象としており、対象児童生徒へ支援していない時間以外は交付対象外としている。今年度は、対象児童の休みや支援員の休み等により、執行率が上がらなかった。

活動目標（指標）及び達成状況

R5活動目標（指標）		達成状況 R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
小学校1校へ3名、中学校1校へ1名の特別支援教育支援員を配置する	目　標	（小学校2名配置 中学校3名配置）	（小学校2名配置 中学校3名配置）	（小学校2名配置 中学校2名配置）	（小学校3名配置 中学校1名配置）
	実　績	小学校2名配置 中学校2名配置	小学校1名配置 中学校2名配置	小学校1名配置 中学校2名配置	小学校3名配置 中学校1名配置
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明

小学校へ3名・中学校へ1名、計4名（12ヶ月）の特別支援教育支援員配置を4月より配置できた。。
特別支援教育支援員と教職員及びスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーと連携を図り、児童生徒個々のニーズに応じた支援を行うことにより、適切な学習環境の保持ができた。

成果目標（指標）及び進捗状況

R5成果目標（指標）		基準値（　年度）	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（　年度）
支援員に対する満足度（80%以上）を含め、対象となる児童生徒の保護者へアンケート調査を実施し、当該事業のあり方について検証する。	目　標	（　　）	（80%）	（80%）	（80%）	（　　）
	実　績		100%	100%	100%	
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明

支援対象児童生徒の保護者（4名）に対しアンケートを実施、2名からの回答を得た。アンケートの「特別支援教育支援員の対応に満足しているか」の問いに対し、「満足している」「とても満足している」の回答が得られた。また、「支援員の支援を受けてお子さんに変化はありましたか」との問いに「変化があった」「とても変化があった」との回答で、変化の内容には「自信をもって、何事にも取組んでいます。勉強や家庭学習も集中して行える。団体生活、活動において順応性が持て様になり、感情コントロール出来る様になっている。」との回答があった。
保護者からは、「本人が毎日楽しく学校へ通うっていてとても満足している。個性、長所及び短所を見極めつつベストな方向へ考慮してくださり導いて頂けそうな所に満足している」等、支援を受けることにより児童とって安心・安全な学習環境を提供することができた。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	特別支援教育支援員による授業中のサポート、見守り支援、個別での課題（家庭学習）作成、放課後の補講などにより支援員配置の満足度は達成できた。 今後は、保護者からの声（アンケート）を支援員（学校）と共有することにより、より一層事業の推進に繋げる必要がある。	支援を要する幼児児童生徒一人ひとりに合った支援体制を維持していくため、今後もスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる巡回相談のあり方や巡回後の学級担任・特別支援教育コーディネーター等との面談・情報交換等を定期的に行う。 特別支援教育支援員研修会を今後も継続し、資質向上を図るとともに、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーからのアドバイス・情報提供を活用する。

今後の取り組み方針

スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーからの個別の支援アドバイス等を学校・特別支援教育支援員へ情報提供し、支援方法の共有を図る。
教職員、特別支援教育支援員、指導主事等や保護者間で随時情報交換を行い、個々の状況を把握しながら支援の必要な幼児児童生徒に適切な支援を行えるよう、体制強化に努める。
アンケートの内容や事業の周知方法等を見直し、成果目標の検証に役立てる。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
9,372	5,531	4,425	1,106	3,841

東村 5,531千円 → 報酬 5,531千円 → 特別支援教育支援員（4名） 5,531千円

（特別支援教育支援員配置事業）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定方法について、支援員は「東村会計年度任用職員の給与に関する規則」に該当し、応募者から提出された書類、面接に基づき任用しており、妥当である。 ○予算規模において、予算範囲内で執行できており、事業 内容に見合った適正な規模である。 ○費目・使途については、支出等に関する書類により確認、適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	東村

令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-①	東村自然環境保全事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-（3）-ア 海洋島しょ圏としてのSDGsへの貢献
担当部課名	建設環境課	事業実施（予定）年度	令和３年～令和８年度	沖縄振興基本方針該当箇所	III-10-（1）

事業内容	貴重な漁場及び観光資源となる海を保全するとともに産業振興を図るため、本村内での発生源調査及び土木的対策方法を検討し、赤土等流出の抑制を図る
効果発現年度	□当年度　■後年度（　7　年度）
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
予算の状況	(a) 当初予算額	5,170	27,830	10,210		
	(b) 予算現額	2,420	21,725	10,210		
	(c) 増減額 (b-a)	-2,750	-6,105	0	0	0
	(d) 繰越額					
	A. 計 (b+d)	2,420	21,725	10,210	0	0
B. 執行済額		2420	20427	11,220		
うち交付金充当額		1,936	16,341	8,976		
次年度繰越額						
執行率（%）(B/A)		100.0%	94.0%	109.9%	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		入札残等の341千円は第4回変更交付決定にて減額した。				

活動目標（指標）及び達成状況

R5活動目標（指標）		達成状況 令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
R4年度に実施した基本設計を踏まえ、実施設計を行う。	目　標	（　実施　）	（　実施　）	（　実施　）	（　　）
	実　績	実施	実施	実施	
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				
達成状況説明	工区①における詳細設計を実施し完了した。				

成果目標（指標）及び進捗状況

R5成果目標（指標）		基準値（　年度）	R5年度	R6年度	R7年度	目標値（　年度）
R4年度に実施した基本設計を踏まえ、実施設計を完了させる。	目　標	（　　）	（　詳細設計　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		詳細設計の完了			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					
進捗状況説明	工区①における詳細設計を実施し完了した。					

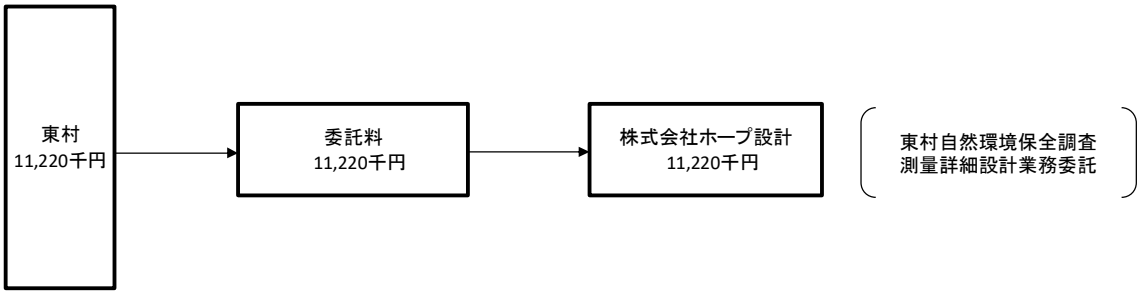
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	河川における土木的対策であることから、関係法令等の手続きや、降雨・台風等に留意しながら工期に遅れが生じないよう工事を行う必要がある。	降雨や台風等を考慮し、余裕を持たせた工期の設定と早期工事発注を行う。

今後の取り組み方針

令和6年度に工区1の整備着手、令和7年度に工区1における効果検証を行ったうえで、今後の整備スケジュールについて事業年度の延長等も含め再度検討する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
11,220	11,220	8,976	2,244	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模も適正な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	東村

令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-①	東村健康づくり事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-（3）-ア 沖縄の食や風土に支えられた健康づくりの推進
担当部課名	福祉保健課	事業実施（予定）年度	令和３年度～令和６年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-4-（2）
事業内容	村民の健康増進を図るため、宮城区及び川田区において健康器具の設置を行った。				
効果発現年度	□当年度　■後年度（ 10 年度）				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
予算の状況	(a) 当初予算額	5,080	65,508	84,587		
	(b) 予算現額	5,204	60,060	60,553		
	(c) 増減額 (b-a)	124	▲ 5,448	-24,034		
	(d) 繰越額					
	A. 計 (b+d)	5,204	60,060	60,553		
B. 執行済額		5,204	60,060	59,543		
うち交付金充当額		4,163	48,048	47,634		
次年度繰越額						
執行率（%）(B/A)		100.0%	100.0%	98.3%		
予算の状況の説明		健康器具設置にあたり2地区へ事業説明を行った際に器具の配置変更の要望があったため、区と配置の再検討を行った結果、健康器具の配置を集約することとなった。、そのためカラー舗装の面積が減り当初事業費より減額となった。				

活動目標（指標）及び達成状況

R5活動目標（指標）		達成状況 R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
健康器具設置場所の調査検討	目　標	（ 調査設計の実施 ）	（　）	（　）	（　）
	実　績	調査設計の完了			
健康器具の設置	目　標	（　）	（ 健康器具の設置 ）	（ 健康器具の設置 ）	
	実　績		健康器具の設置	健康器具の設置	

達成状況説明	令和5年度は2地区（宮城区、川田区）に健康器具を設置し供用を開始した。

成果目標（指標）及び進捗状況

R5成果目標（指標）		基準値（ 年度）	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（ 年度）
健康器具設置場所の調査検討	目　標	（　）	（ 報告書作成 ）	（　）	（　）	（　）
	実　績		報告書作成完了			
健康器具の設置工事の完了	目　標	（　）	（　）	（ 健康器の設置工事の完了 ）	（ 健康器の設置工事の完了 ）	（　）
	実　績			健康器の設置工事の完了	健康器の設置工事の完了	

進捗状況説明	2地区に健康器具を設置した。

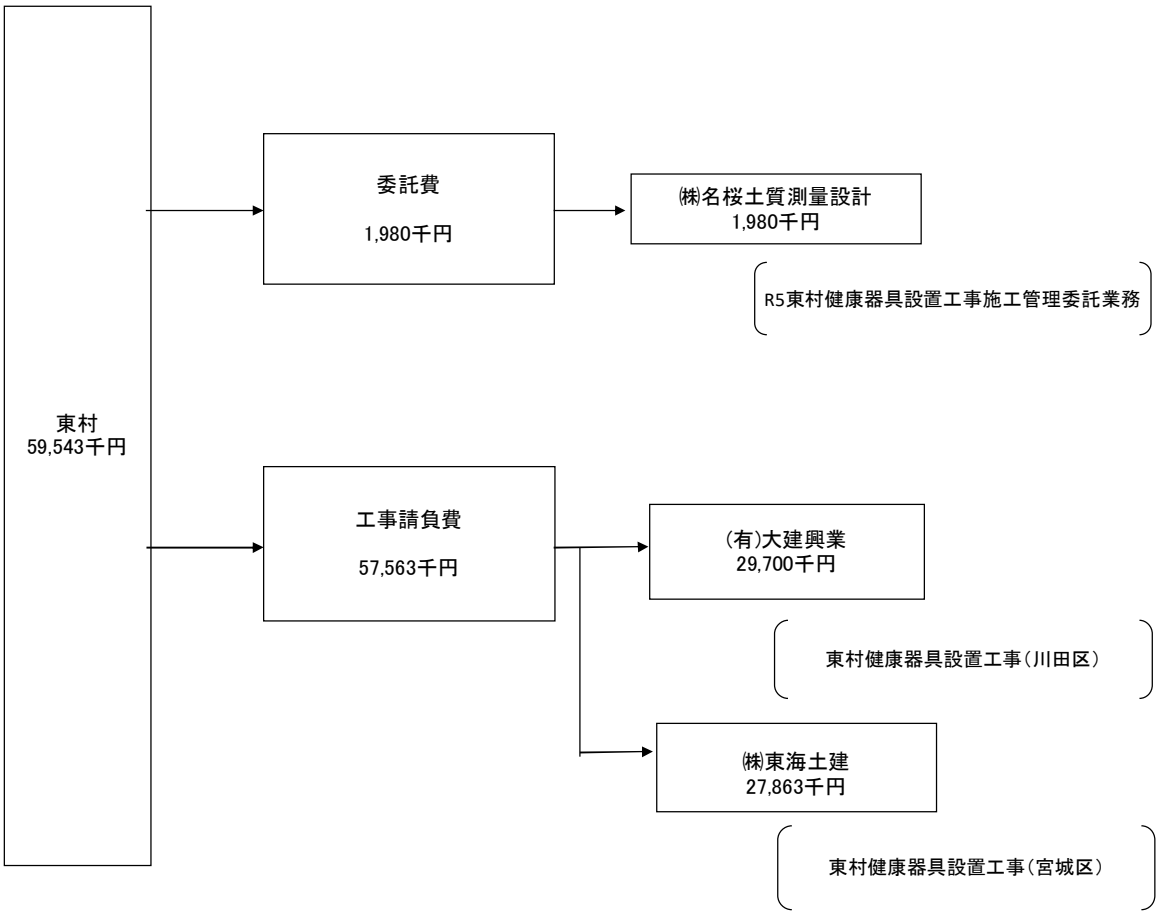
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	健康器具の利用促進を図るため、普及啓発を図る必要がある。	健康運動指導士等へ委託し各地区において健康器具の利用の啓発や健康器具の利用指導を継続して実施する必要がある。

今後の取り組み方針

健康運動指導士等へ委託し各地区において健康器具の利用の啓発として、チラシの配布、健康器具の使い方教室の開催などを継続して行うことや、村民へのアンケートにより改善箇所の把握などを行い、東村におけるメタボ率の減少に向けて取り組む。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
59,543	59,543	47,634	11,909	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者及び工事業者においては指名競争入札により決定している。 ○予算については価格調査の実施を行っており適正な規模である。 ○事業目的に沿い必要な経費を計上している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	東村

令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4-①	東村博物館機能高度化事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-（1）-（ア） 地域を知り、学びを深める環境づくり
担当部課名	教育委員会	事業実施（予定）年度	令和４年度～令和９年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-（3）
事業内容	東村の自然・歴史・文化・民俗に関する資料の収集を継続的に推進し、調査研究を実施すると共に、県内外を問わず幅広く公開、活用され、観光振興と生涯学習に資することを目的に、文化発信拠点である村立博物館の施設の展示機能の充実、企画展示室と収蔵庫の拡張、LED化を実施する。				
効果発現年度	□当年度　■後年度（　8　年度）				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
予算の状況	(a) 当初予算額	17,853	32,000			
	(b) 予算現額	16,500	31,790			
	(c) 増減額 (b-a)	-1,353	-210	0	0	0
	(d) 繰越額					
	A. 計 (b+d)	16,500	31,790	0	0	0
B. 執行済額		16,500	31,790			
うち交付金充当額		13,200	25,432			
次年度繰越額						
執行率（%）(B/A)		100.0%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明						

活動目標（指標）及び達成状況

R5活動目標（指標）		達成状況 R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
実施設計の実施	目　標	（基本設計策定の実施）	（実施設計の実施）	（　）	（　）
	実　績	基本設計策定の実施完了	実施設計の実施完了		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：活動目標は計画通り達成できた。

成果目標（指標）及び進捗状況

R5成果目標（指標）		基準値（年度）	R4年度	R5年度	R6年度	目標値（年度）
実施設計の完了	目　標	（　）	（基本設計策定の完了）	（実施設計の完了）	（　）	（　）
	実　績		基本設計策定の完了	実施設計の完了		
【参考指標】供用開始後1年目（令和8年度予定）の目標を年間利用客数25,000人	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：計画どおり令和5年度末までに実施設計が完了した。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	本事業では東村博物館機能高度化実施設計を実施した。R4年度に策定した基本設計を踏まえ、綿密な打ち合わせや現場確認を行い期限内に完了できた。	機能高度化の実施設計を踏まえ、機能高度化工事実施につなげていく。

今後の取り組み方針

今後は東村博物館機能高度化実施設計を踏まえ、R6年度からR7年度にかけて事業予算の調整を行っていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
31,790	31,790	25,432	6,358	0

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模も適正な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	東村

令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	5-①	環境保全・ネコの適正飼養推進事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-（2）-（ア） 自然環境・生物多様性の保全・継承
担当部課名	建設環境課	事業実施（予定）年度	令和４年度～令和９年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-10-1

事業内容	地域住民の安全確保及び世界自然遺産登録された貴重な自然生態系の保全のため、R4年度に実施したネコの実態調査（飼いネコの飼養状況・飼い主不明ネコ・地域ネコの現状把握）を基に、本村における飼いネコの適正飼養推進及び飼い主不明ネコ・地域ネコの保護及び譲渡強化を図る。
効果発現年度	□当年度　■後年度（令和9年度）
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
予算の状況	(a) 当初予算額	1,200	13,063			
	(b) 予算現額	1,200	13,063			
	(c) 増減額（b-a）	0	0	0	0	0
	(d) 繰越額	0	0			
	A. 計（b+d）	1,200	13,063	0	0	0
B. 執行済額		1,181	13,063			
うち交付金充当額		945	10,450			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）（B/A）		98.4%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		事業費は令和5年度末までに全額執行した。				

活動目標（指標）及び達成状況

R5活動目標（指標）		達成状況 R4年度	R5年度	R7年度	R8年度
村内における飼いネコ・飼い主不明ネコ・地域ネコの現況を調査し把握する。	目　標	（　調査実施　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	調査実施			
・飼いネコ適正飼養の普及啓発 ・飼いネコ適正飼養の為の処置 ・飼い主不明ネコ及び地域ネコの適正管理及び譲渡強化 ・ネコ適正飼養推進検討会の運営	目　標	（　　）	（　実施　）	（　　）	（　　）
	実　績		実施		

達成状況説明	活動目標は全て実施することができた。

成果目標（指標）及び進捗状況

R5成果目標（指標）		基準値（　年度）	R4年度	R5年度	R6年度	目標値（　年度）
飼いネコの飼養状況 登録ネコ：全件把握 未登録ネコ：一部把握 飼い主不明ネコ・地域猫の生息地頭数把握	目　標	（　　）	飼いネコ飼養状況把握 飼い主不明・地域ネコの生息地・頭数把握	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		登録ネコ：全件把握 未登録ネコ：一部把握 飼い主不明ネコ・地域猫の生息地頭数把握			
ネコの捕獲頭数60頭	目　標	（　　）	（　　）	（　60頭　）	（　　）	（　　）
	実　績			60頭		

進捗状況説明	成果目標のネコの捕獲数60頭を達成することができた。 11月には村内で実施したイベント（出張手術）により飼いネコの避妊・去勢手術及びマイクロチップ装着、飼いネコの登録を一括して行うことにより、適正な飼育環境が大幅に改善されてきている状況である。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	飼い主不明ネコ及び地域ネコの保護後、譲渡先を見つけることが課題である。エイズ等の病気のネコも多数おり、譲渡に苦慮している。	県内の飼い主不明ネコが多すぎて、県内だけでの譲渡はかなり厳しいため、県外譲渡に向けた取り組みが必要である。R5年度も県外への譲渡を実施。委託先の状況に合わせ、保護・搬送の日程調整を行い、飼育崩壊しないよう配慮する。村として殺処分は検討していない。

今後の取り組み方針

飼いネコの適正飼養については、今後も根気よく適正飼養推進のための広報等も実施し、飼い主不明ネコ・地域ネコの保護及び譲渡に向けては、県外への譲渡を強化できるよう情報発信を強化する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
13,063	13,063	10,450	2,613	0

東村 13,063千円 → 委託料 13,063千円 → NPO法人 どうぶつたちの病院沖縄 13,063千円

（環境保全・ネコの適正飼養推進業務委託）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者はプロポーザルにて選定した。1者しか応募がなかったが、委託先は、自然生態系保全に関する知識やネコの実態を把握し、保護している実績などもあり、妥当であったと考えている。 ○予算規模も適正な規模であった。 ○費目・使途についても事業実施に必要不可欠なものであり適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	東村

令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-①	小中学校電子黒板設置事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-（1）-（ウ） 公平な教育機会の確保と学習環境の充実
担当部課名	東村教育委員会	事業実施（予定）年度	平成26年度～令和５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-1

事業内容	将来の本村や沖縄振興に資する人材育成や沖縄が抱える学力向上における課題克服へ向け、教育用ICT機器を活用した教育環境の整備を推進するため、村内小中学校の特別教室に電子黒板を整備し、児童生徒に解りやすく効果的な授業を実施し、学習意欲を高め学力向上を図る。
効果発現年度	■当年度　□後年度（　　年度）
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
予算の状況	(a) 当初予算額	28,556	14,362			
	(b) 予算現額	23,430	13,530			
	(c) 増減額 (b-a)	-5,126	-832			
	(d) 繰越額					
	A. 計 (b+d)	23,430	13,530			
B. 執行済額		23,430	13,530			
うち交付金充当額		14,256	10,824			
次年度繰越額						
執行率（%）(B/A)		100.0%	100.0%			

予算の状況の説明：入札残額を減額し執行率は100%であり、予算通りの事業執行となった。

活動目標（指標）及び達成状況

R5活動目標（指標）		達成状況 R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
村内小中学校の特別教室へ電子黒板を設置	目　標	（17台）	（9台）	（　）	（　）
	実　績	17台	9台		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：村内小中学校特別教室等に電子黒板の設置が完了した。

成果目標（指標）及び進捗状況

R5成果目標（指標）		基準値（年度）	R4年度	R5年度	R6年度	目標値（年度）
児童生徒にアンケートを実施し、電子黒板を活用した授業が分かりやすかったか（80%以上）を含め、児童生徒へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	目　標	（　）	（80%）	（80%）	（　）	（　）
	実　績		80%	94.1%		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：電子黒板の活用した授業では、生徒の理解度や興味・関心に合わせた個別最適化された学習が可能となり、児童生徒の理解度については、アンケート結果により94.1%であった。

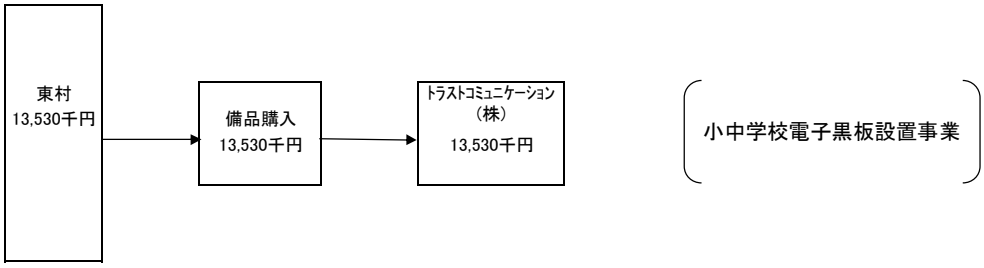
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	綿密な打ち合わせを事業者及び学校と行い、授業等へ支障が無いよう設置完了することができた。 教職員によって電子黒板の活用状況に差異がみられる。	教職員向けの電子黒板活用研修の充実を図る。

今後の取り組み方針

○解りやすい授業を展開するため各教職員の電子黒板を含むICT機器を活用するスキルアップ研修等の充実を図る。
○電子黒板を活用し、教科・学年に応じた分かりやすい授業を展開することで児童生徒の学習意欲を高め学力向上を図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
13,530	13,530	10,824	2,706	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○備品購入業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模については、事業目的を達成するために必要な備品費であり適正な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	東村

令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7-①	東村コミュニティバスデマンド化実証実験事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-（1）-ウ 人と環境に優しいまちづくりの推進
担当部課名	総務財政課	事業実施（予定）年度	令和５年度～令和６年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-（3）
事業内容	東村コミュニティバスの利便性向上を図り、移動しやすい街づくりを推進するため、デマンド化実証実験を行う。				
効果発現年度	■当年度　■後年度（ 令和6年度）				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
予算の状況 (a) 当初予算額	4,011				
予算の状況 (b) 予算現額	2,485				
予算の状況 (c) 増減額（b-a）	-1,526	0	0	0	0
予算の状況 (d) 繰越額	0				0
予算の状況 A. 計（b+d）	2,485	0	0	0	0
B. 執行済額	2,437				
うち交付金充当額	1,949				
次年度繰越額	0				0
執行率（%）（B/A）	98.1%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

予算の状況の説明：外注費の変更に伴う契約額の減額を行った。

活動目標（指標）及び達成状況

R5活動目標（指標）		達成状況 R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
デマンド管理システムの導入	目　標	（ システム一式 ）	（　）	（　）	（　）
	実　績	システム一式			
デマンドバスの利用説明会	目　標	（ 6回 ）	（　）	（　）	（　）
	実　績	6回			
デマンドバス実証実験	目　標	（ 6か月 ）	（　）	（　）	（　）
	実　績	6か月			

達成状況説明：
・10月の運行開始を目指し、スムーズなシステム導入を行うことができた。
・村内の6地区において利用説明会を開催し、周知を図ることができた。
・10月よりデマンド運行を開始し、3月29日まで実証実験を行うことができた。

成果目標（指標）及び進捗状況

R5成果目標（指標）		基準値（ 年度）	R5年度	R6年度	R7年度	目標値（R6年度）
東村コミュニティバス利用者へアンケートを実施し、利便性の向上を実感したものの割合	目　標	（ － ）	（ 60% ）	（　）	（　）	（ 70% ）
	実　績		36%			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：
・デマンド運行を開始し、利用者にアンケートを実施した結果、利便性の向上を感じたものは36%となった。それに対し、利便性が低下したと感じたものは9%となっており、成果を感じた人の方が多かった。ただし、目標値を下回っているのでコミュニティバスの利便性を改善する必要がある。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	（利便性の向上を実感したものの割合） 利用者の多くは高齢者であるため、デマンド運行開始直後は不慣れな事前予約に戸惑いを感じている状況であった。事前予約を繰り返すうちに、スムーズな予約ができるようになり、利便性の向上を実感している利用者が少しづつ増加した。	（利便性の向上を実感したものの割合） ２月に実施したアンケートの結果及びデマンド運行の実績を踏まえ、３月１日より事前予約に関する締切を利用の3時間前から1時間前までに変更し、これまでより利便性を向上させた。

今後の取り組み方針

（利便性の向上を実感したものの割合）
令和6年度においても引き続きデマンド運行を継続する。また、収集したデータを活用し、利便性の向上に繋げていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,437	2,437	1,949	488	0

東村 2,437千円 → 委託料 2,437千円 → 沖縄トヨタ自動車（株） 2,437千円

（令和5年度東村コミュニティバスデマンド化実証実験事業業務委託）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者の選定はプロポーザル方式により決定し、妥当であったと考えている。 ○予算規模も適正な規模であった。 ○費目、用途は完了検査を実施しており、適切であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	東村

令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	9-①	避難経路整備事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章－2－（4）－（イ） 大規模災害等に備えた強くしなやかな県土づくりの推進
担当部課名	建設環境課	事業実施（予定）年度	令和５年度～令和６年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-10-（3）
事業内容	地域住民及び観光客等の安心安全を確保するため、地震・津波災害時の避難経路を整備し、大規模災害等に備えた防災強化を図る。				
効果発現年度	□当年度　■後年度（令和7年度）				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
予算の状況	(a) 当初予算額	9,800				
	(b) 予算現額	10,351				
	(c) 増減額 (b-a)	551	0	0	0	0
	(d) 繰越額	0				0
	A. 計 (b+d)	10,351	0	0	0	0
B. 執行済額		10,351				
うち交付金充当額		8,280				
次年度繰越額		0				0
執行率（%）(B/A)		100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

予算の状況の説明：当初計画していた事業内容を実施し、順調に執行することができた。なお、予算の増額については、測量業務の実数に伴う数量変更によるもので551千円を増額変更申請を行い、100%の執行率となっている。

活動目標（指標）及び達成状況

R5活動目標（指標）		達成状況 R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
実施設計の実施	目　標	（実施設計の実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績	実施設計の実施			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：避難経路の実施設計書を作成し、目標どおり達成した。

成果目標（指標）及び進捗状況

R5成果目標（指標）		基準値（年度）	R5年度	R6年度	R7年度	目標値（R7年度）
実施設計の完了	目　標	（　）	（実施設計の完了）	（　）	（　）	（　）
	実　績		実施設計の完了			
【参考指標】防災避難訓練	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（1回/年）
	実　績					

進捗状況説明：実施設計書の作成を目標としており、目標どおり達成した。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	避難経路整備完了に伴い、防災マップ等の見直し及び地域住民への周知が必要である。	避難経路整備完了に伴い、防災マップの見直し及び地域住民への周知方法を検討する。

今後の取り組み方針

避難経路整備完了に伴い、防災マップの見直し及び避難訓練を1回/年、実施する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
10,351	10,351	8,280	2,071	0

東村
10,351千円
→
委託料
10,351千円
→
有限会社　国誠測量設計
10,351千円

（避難経路整備測量設計業務委託）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点　検　項　目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定してお妥当であったと考えている。 ○不用額も無く適正であったと考えている。 ○費目、使途については完了検査を実施しており、目的に即し必要なものであった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	東村

令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	10-①	産業支援住宅整備事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章－5－（4）－イ 持続可能な地域づくりを担う人材の育成・確保
担当部課名	農林水産課	事業実施（予定）年度	令和５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-（6）

事業内容

沖縄本島で最も人口の少ない本村は、移住者の定住や村在住者の村外流出を抑えるために低廉な賃貸住宅の整備や子育て支援など独自の定住促進策に力を入れてきた。
定住環境整備をすすめている中での大きな課題は雇用の場の確保である。本村は、第1次産業従事者の高齢化や後継者、担い手不足が課題となっており、その対策が必要となっている。
本事業において産業支援住宅を整備し、地域産業の雇用と定住を図る。

効果発現年度　■当年度　■後年度（令和7年度）

実施方法　□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
予算の状況	(a) 当初予算額	6,000				
	(b) 予算現額	16,000				
	(c) 増減額 (b-a)	10,000	0	0	0	0
	(d) 繰越額	0				
	A. 計 (b+d)	16,000	0	0	0	0
B. 執行済額		15,840				
うち交付金充当額		12,672				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		99.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

予算の状況の説明：当初予算は設計業務6,000千円であったが、予定地の変更等により土質測量調査の追加業務を行う必要となった為、12月補正で10,000千円を増額した。委託発注の入札残により160千円の不要となった。

活動目標（指標）及び達成状況

R5活動目標（指標）		達成状況 R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
産業支援住宅の建設場所の調査、実施設計を行う。（建築設計業務）	目　標	（建築設計完了）	（　）	（　）	（　）
	実　績	建築設計完了			
産業支援住宅の建設場所の調査、実施設計を行う。（測量地質調査業務）	目　標	（測量調査完了）	（　）	（　）	（　）
	実　績	測量調査完了			

達成状況説明：令和5年度は建設予定地の測量地質調査業務及び建築設計業務を行い建設戸数及び設計内容等の作成することが出来た。

成果目標（指標）及び進捗状況

R5成果目標（指標）		基準値（年度）	R5年度	R6年度	R7年度	目標値（年度）
実施設計の完了	目　標	（　）	（業務完了）	（　）	（　）	（　）
	実　績		業務完了			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：令和5年度は建設予定地の測量地質調査業務及び建築設計業務を行い建設戸数及び設計内容等を作成することが出来た。今後は用地取得を行い建築へ向けての調整を行う。

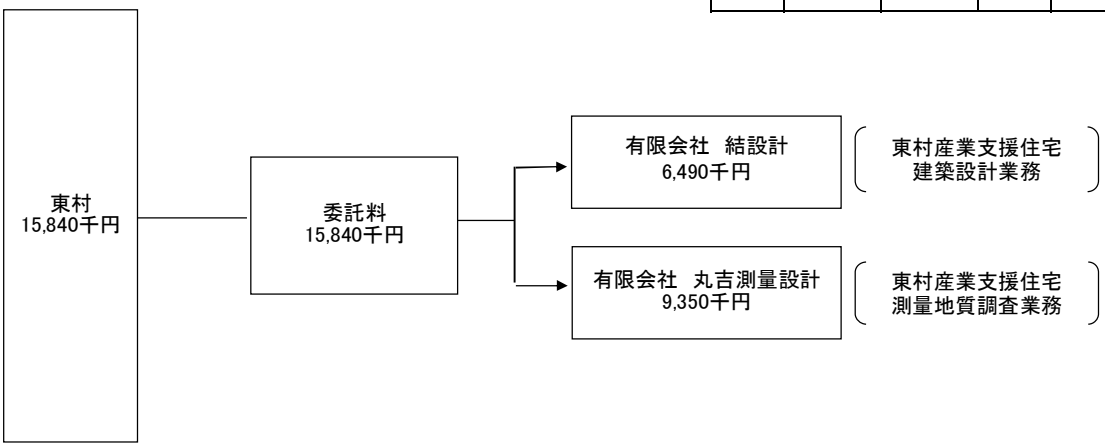
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	令和5年度は建設予定地の測量地質調査業務及び建築設計業務を行い建設戸数及び設計内容等を作成することが出来た。今後は用地取得を行い建築へ向けての調整を行う。	用地取得を円滑に行うため土地所有者へ事業内容の詳細の説明等を行う。

今後の取り組み方針

今回の業務内容を精査し、敷地の造成及び建築発注へ向けて関係課や地域との調整を行いながら進めていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
15,840	15,840	12,672	3,168	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模は事業内容の目的に沿った必要なものであった。 ○費目、使途については検査を実施しており、目的に即し、必要なものであった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	